第１号様式

市民との意見交換会・報告書

開催地区：門田地区	開催日時：令和６年11月11日（月）　18時00分　～　19時30分
担当班　：第３班（出席議員）丸山さよ子、渡部認、中川廣文、（班外議員）原田俊広 （欠席議員）村澤智、髙橋義人	
開催場所：南公民館	
参加人数：男性　１名、女性　０名、合計　１名	

会場の雰囲気、次回に向けての反省点、申し送り事項など

１．意見交換の総括

⑴　議会報告、市政全般についての総括

①　９月定例会議について

扇町と松長地区で試行的に実施している面的除雪について、どのような取組をしているのか質疑があった。

②　市政全般（市のまちづくりに向けた課題）について

町内会活動や市のイベントへの関わり等について、地域が広範囲にわたる門田地区ならではの課題が示された。

社会福祉協議会と取り組む間口除雪についても、人員不足で体制が維持できなくなってきているとの課題も示された。

⑵　地区別テーマについての総括

①　地区別テーマ

地域のつながりづくりについて

②　テーマ設定の理由、背景

少子高齢化による地域の担い手不足はどの地域も共通した課題であり、また、自主防災組織の活動による防災意識の向上と合わせ、災害リスクの知識の共有による地域のつながりづくりも深掘りしたいとの考えによりテーマを設定。

③　主な地域課題

門田地区は地域が広範囲にわたるため、地域により実状が異なり、地域特性を生かした取組が求められる。市が主催のイベントにも地域で関わることが多いが、活動できる人員が少ない。

災害リスクについては、同地区内でも地域によって河川の氾濫、土砂災害と不安材料が異なり、対応に苦慮している。

会津若松市議会議長　様

令和6年12月11日　　会津若松市議会市民との意見交換会実施要領第２項第11号の規定により提出します。

予算決算委員会委員長　　大竹　俊哉

意見交換会第３班　　代表者　丸山　さよ子

○　議会報告（定例会など）、市政全般（市政・議会運営に関する意見交換）について

※分類　●議会に関するもの　○市政に関するもの
※番号　①回答（処理）済　②ご意見として伺った事項（含む情報提供）　③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
面的除雪とは何か。	令和２年から扇町と松長地区で試行的に実施している除雪方法で、１路線を１業者が除雪する従来の方法ではなく、複数の路線を複数の業者が協力して担当することで、多様な除雪機種の組み合わせが可能になるなど、除排雪の効率化を図っている。今後、対象地域を拡大するかどうかは、まだ検討段階である。	○	①		雪害対策
土地区画造成後、公道と公道を結ぶ道路にはならずに、行き止まりになっている私道があり、市の除雪対象になっていない。また、市への寄附も受け付けられなかったらしい。	市道の認定についてはルールに沿って判断している。私道の除雪についても一定の条件があり、除雪対象を決めている。	○	①		道路
地域運営組織とは何か。	市ではなく、地域の方が自主的に組織している団体のこと。町内会単位ではなく、もっと広い範囲で捉えて、町内会でできないことをどのようにしていくのかについて、広い地域で考えていく組織のことである。	○	①		地域社会

○　地区別テーマでの意見交換について　　→　地域のつながりづくりについて

※分類　●議会に関するもの　○市政に関するもの
※番号　①回答(処理)済　②ご意見として伺った事項(含む情報提供)　③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況		
		分類	番号	対応
高齢福祉課が窓口となり、「地域創成ソフト事業」の事前調査があった。小テーマは「健やかコミュニティモデル地区育成事業」。門田地区は地域が広範囲にわたるため、市等が主催する鶴ヶ城ハーフマラソン大会など地域的に関わるイベントも多い。 また、９月以降は敬老会や文化祭、緑地公園の祭りとイベントが重なり人手が足りない。町内会役員の担い手もおらず、町内祭りの旗立ても一苦労。高齢者や若い女性が参加しやすくなるよう、「地域創成ソフト事業」を生かしたいと考えている。	ご意見として伺う。	○	②	
自主防災組織については、地域で予想される災害の知識を共有し防災意識を高め、水害・地震のリスク低減につなげたい。 今後は、江戸時代、阿賀川の堤防がない時代の図面を基にして、地域データで避難場所、避難経路の共有を進めたい。 また、子どもを対象とした防災の取組も行っている。	ご意見として伺う。	○	②	
災害について、門田地区は広範囲であるため、川のそばに住む方は河川の氾濫を、山の上に住む方は土砂災害を心配し、中心の方はあまり関心がない。今後は、災害が発生した際にどこに逃げるのがベストか第三包括支援センターと検討していく。	災害に関心の薄い住民の方に対しては、『我が家の防災対策』など、様々な内容の出前講座を市が行っているので、それらを活用し身近なテーマから取り組んで、防災意識を高めてはどうか。	○	②	
生成ＡＩのジェミニを活用して、どう防災に生かすのか。市は情報を常にチェックして早めに備えをしてほしい。	ご意見として伺う。	○	②	

○　地区別テーマでの意見交換について　　→　地域のつながりづくりについて

※分類　●議会に関するもの　○市政に関するもの
※番号　①回答(処理)済　②ご意見として伺った事項(含む情報提供)　③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況		
		分類	番号	対応
社会福祉協議会から依頼される間口除雪も、体制が維持できなくなってきている。	ご意見として伺う。	○	②	